

# 次世代を担う人材に

## 西仙北地域の児童生徒が田植えに挑戦

西仙北地域にある3つの学校の児童生徒による田植えが21日、大仙市北野目の農事組合法人刈和野大綱ファームの水田で行われた。秋の収穫後に取れた稲わらは「刈和野の大綱引き」で使う綱の原料として使われる。



青々とした苗を受け取る

綱づくりの後継者不足や大綱の原料の確保といった課題の解決につなげようと、今年度から市が開始した「刈和野大綱米プロジェクト」の一環。農業体験を通して各学校が一丸

となつて地域の活性化を図ることをねらいとしている。  
この日は、午前以西仙北小5年生50人と西

仙北中3年生43人、午後に西仙北高校の全校生徒75人が参加し、計80坪に「あきたこまち」の苗を植えた。

午前は、作業を前に大綱ファームの高橋博代表理事(72)が植え方を指導。「農業と地元の伝統行事のつなが



植え方を指導する高橋代表理事



裸足で田んぼへ

### 会 俳 句 川 瀬 鮎

葉桜や百穂翁碑大いなる  
葉桜や日傘を畳む老夫婦  
葉桜や稻を啄む雀二羽  
葉桜や目立たず咲ける赤椿  
葉桜や八十五歳術後良く

奥拓男  
藤井 落葉  
梁田 堅香子  
菅原 草芽  
菅田 北投石

りを知ることができ活動。美味しいお米になるようお願いを込めて植えてほしい」と参加者呼びかけた。

降りしきる雨の中、児童生徒は裸足で恐る恐る田んぼに入った。始めは泥に足を取られ、思うように植えられなかったが、慣れてくると服や体が汚れるのも気にせず夢中で苗を差し込んでいた。

西仙北小の佐藤将真君(10)は「雨の中だったけれど、みんなと楽しく植えられて良かった。収穫後にしっかりとした綱ができるように元気に成長してほしい」と話した。

「刈和野の大綱引



夢中になって作業を楽しんだ

## 参加者募集

### 美郷町真昼山町民登山

第16回美郷町真昼山町民登山が6月13日に開催される。  
参加対象は小学校高学年以上。当日は午前8時に赤倉登山口大鳥

居に集合。日程は赤倉登山口、登山口甘露水、石台、ヤセツル、尾根、峰越分岐(音動岳)〜真昼山山頂、午後3時半ころ下山と

なっている。  
参加料無料。希望者は6月6日まで町体育協会事務局(☎0187・86・8300)へ。